

こんな暮らしを求めていた。

求めていた条件が
岡垣町には揃っていた

町内で高齢化率が最も高い南高陽区。そこに2年前、徳永博之さん家族が引っ越してきました。出身は北九州市。妻の智恵美さんは山口県で生まれ育ちました。

博之さんの仕事の都合で住まいを転々とした後、出身の北九州市に近いJR鹿児島本線沿いでマイホームを建てる土地を探し始めました。いくつか候補地がある中から岡垣町を選んだ博之さん。新たな分譲地ではなく既にある団地内の土地に決めた理由をこう話します。

「最も重視したのは1区画あたりの土地の広さです。また、既に地域の中で人と人とのつながりができているので、隣近所の人とも付き合やすいのではないかと思いました。さらに、下見をしたときに、中学生くらいの子があいさつをしてくれたことも決め手です。きっと雰囲気の良い地域なんだろうと思いました」





①



③



②

①②休日は波津海水浴場で貝がらを探したり、サイクリングロードで自転車に乗ったりして海のある暮らしを楽しんでいる③区の夏祭りを満喫

地域の人たちが
温かく迎えてくれた

徳永さん家族は、転入してすぐ自治区に加入しました。「どんど焼きや夏祭りなど、区の行事には楽しく参加させてもらっています」と笑顔で話す智恵美さん。向かいに住んでいる末廣さんの声掛けもあり、すんなりと区に溶け込めた

ようです。

智恵美さんは、南高陽の自宅で美容室を営んでいます。長男の宙之介くんは、昼間は幼稚園へ。美容室の予約が入ったときは、長女の湊桜ちゃんをこども未来館に預けています。徳永さん家族は、岡垣町での生活にも慣れ、楽しい日々を過ごしています。

地域 × 移住者

人と人がつながり、ともに暮らしていく

子どもたちの声に元気をもらっています



末廣美砂子さん
(南高陽区)

南高陽区では、高齢化などで空き家が多くなり、子どもの数も減ってきました。若い世帯が引っ越してくるのも1年に1軒くらいです。

これまでは隣近所の土地に空きがあり、いろいろと不安に思うこともありましたが、徳永さんが引っ越してきてからは、家の電気がついているだけで安心できます。また、子どもたちの明るい声にいつも元気をもらっています。

これからも少しずつ、若い世帯が増えてほしいです。



町の活力を保つために



住まいを決めるユウメイ

理想の暮らしを求めて移住する人たち。岡垣町を選ぶ理由は人それぞれですが、この町で生まれ育った人にとっては当たり前前の環境が、実は魅力あふれるものかもしれません。

住む場所を選ぶことは、人生の中でとても大きな決断です。移住者は、大きな期待と同じくらい不安も抱えています。受け入れる地域の人たちにも不安はあると思いますが、新たな家族を見かけたときは優しく声を掛けてあげてください。ともに歩み寄ることで、地域はより活気あふれるものになるでしょう。

活力ある町を 未来につなげるために

岡垣町で暮らすということ。これまで考えたことのなかった人も、この機会に家族や地域で語り合ってみてください。子どもたちが「住みたい」「住み続けたい」と思う町の魅力が、きっと見つかるはずです。

「ちょうどいい暮らしができるまち 岡垣」を全国に発信中

1 町外の移住定住イベントで
岡垣町の暮らしをPR

今年1月に福岡県が初めて東京都で催した「ふくおか移住・定住フェア」や西日本新聞社が主催するイベントなどに参加し、岡垣町の住みよい環境をPRしています。



3 県や町の移住定住サイトで
情報を発信



2 全国誌と協力して
定住促進パンフレットを作成

全国誌「Discover Japan」に掲載された移住者のインタビューや定住支援制度などをまとめました。町内の公共施設や不動産会社に設置しています。



県移住定住ポータルサイト「福がお〜か暮らし」に、岡垣町の情報を掲載しています。東京都から町に移住してきた世帯のインタビューも掲載しています。また、7月から移住相談専門窓口「ふくおかよかこ移住相談センター」が東京都有楽町と福岡市天神に開設されています。

町公式ホームページには定住支援情報集約サイト「おかがき暮らしはじめませんか」を設置。教育や子育て、通勤などさまざまな情報を掲載しています。

まち × 移住者
「はじめまして」から「かけがえのないふるさと」へ

新しい人の流れをつくります

全国の自治体は、これから加速する人口減少や東京への一極集中に歯止めをかけることなどを目的とした「地方創生」に取り組んでいます。町でも、今年の3月に「岡垣町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、取り組みの中で「新しい人の流れをつくる」を基本目標の一番目に掲げています。

岡垣町には豊かな自然があります。また、福岡・北九州両都市の中間に位置し、交通の便にも恵まれています。このような町の住みよさの魅力を、特に町外に向けて効果的に発信するとともに、定住支援を進め、将来にわたり活力ある町を保つために、新たな定住者を呼び込んでいきます。

岡垣町長 宮内實生

